



2022年9月16日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

News Release

事故の約4割が60代以上！ 『はしごの上で作業しない』『脚立にまたがらない』 ～「はしご・脚立」の誤使用は大ケガにつながります～

1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、はしご・脚立の事故は、北海道で合計5件ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2017～2021年度）

発生年度	合計
2017年	1
2018年	0
2019年	3
2020年	0
2021年	1
合計	5

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2017～2021年度）^{※2}

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	1
	軽傷	3
物的被害	拡大被害	0
	製品破損	1
被害なし・不明		0
合計		5

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) はしご兼用脚立

○2019年5月（北海道、年齢不明・男性、軽傷）

事故内容：はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、転倒して軽傷を負った。

事故原因：はしご兼用脚立をはしご状態で屋内の養生された階段部分に設置し、壁に立て掛けた状態で壁紙を剥がす作業を行っていたところ、被害者がバランスを崩して転倒したものと考えられるが、詳細な事故当時の状況が不明であり、バランスを崩した原因の特定はできなかった。

(2) 脚立

○2019年10月（北海道、年齢不明・男性、軽傷）

事故内容：踏み台を使用中、支柱が折れて転倒し、軽傷を負った。

事故原因：踏み台の破損した支柱の肉厚、硬さに異常は認められず、支柱側面が通常の使用における荷重方向とは異なる内側方向に破損していたことから、被害者が踏み台に乗って作業中にバランスを崩して転倒した際、身体の一部が脚部に接触して脚部が破断したものと考えられるが、詳細な事故当時の状況が不明のため、原因の特定はできなかった。

3. はしご・脚立の事故を防ぐポイント

- ① はしごの上で『作業しない』。
- ② 脚立の天板には『乗らない・座らない・またがらない』。
- ③ 使用前に製品の注意表示を確認し、遵守する。
- ④ 開き止め具をしっかりとロックし、安定した地面に設置する。

はしご・脚立の一例



はしご



はしご状態

脚立状態

はしご兼用脚立



脚立（踏み台）

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、佐藤

電話: 011-709-2324